



世界冬の都市市長会 World Winter Cities Association for Mayors

2015年
11月発行

〈世界冬の都市市長会事務局〉

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市総務局国際部内 TEL 011-211-2032 FAX 011-218-5168
e-mail / wwcam@city.sapporo.jp URL / <http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/>

2016年夏、34年ぶりに札幌市で世界冬の都市市長会議開催！

世界冬の都市市長会は「冬は資源であり、財産である」というスローガンのもと、世界中の冬の都市が集まり、冬を快適に過ごすための技術や経験、雪の利活用などを学び合うためのネットワークで、2年に1度、会員都市の市長をはじめとする代表者が集い、市長会議を開催しています。

これまで市長会議は冬季に開催されてきましたが、札幌市長会議は、初めての試みとして夏季(2016年7月)に開催されます。厳しい冬がある一方で、快適な夏も併せ持つ冬の都市ならではのまちづくりを学び合い、世界冬の都市市長会の活動の新たな方向性を展望します。

1982年に札幌で最初の市長会議が開催されて以来、34年の時を経て、新たな魅力を兼ね備えた札幌で皆様のご参加を心よりお待ちしております。参加方法などの詳細につきましては、世界冬の都市市長会事務局までお問い合わせください。

2016年市長会議開催都市「札幌市」の紹介

札幌市は約190万人が暮らす日本で5本の指に入る大都市でありながら、「都市」と「自然」がほどよく調和する北海道の政治・経済・文化の中心地です。1972年の冬季オリンピック開催から国際的な知名度が高まり、現在でも「さっぽろ雪まつり」などの豊富なイベントや魅力的な景勝地も多く、日本有数の観光都市として発展を続けています。2016年の市長会議では、さわやかな夏の札幌をご案内します。



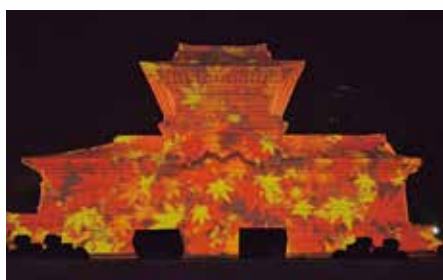
札幌の街並み



日本新三大夜景に選ばれた藻岩山からの夜景



札幌の奥座敷、定山溪温泉



雪まつりを彩るプロジェクションマッピング©HTB



札幌国際芸術祭 2014



全天候型スポーツ施設、札幌ドーム



ウィンタースポーツも札幌の醍醐味



北海道中の食材が集う街、札幌

2016年札幌市長会議

日程：2016年7月27日(水)～7月30日(土)

会場：札幌コンベンションセンター ほか

「冬の都市のまちづくり」をテーマに、雪や氷、冬の寒さ、過ごしやすい夏など、冬の都市のみが持ちうる気候の特徴を生かしたまちづくりの事例を発表し合い、議論を行います。

メインテーマ：冬の都市のまちづくり ～独自性とその魅力～

サブテーマ：①冬の克服から生まれたまちづくり、②冬を活用したまちづくり、③冬以外の季節の気候特性を生かしたまちづくり、④冬の都市における環境に配慮した持続可能なまちづくり



札幌コンベンションセンター特別会議場

冬の都市見本市

日程：2016年7月30日(土)～7月31日(日)

会場：チ・カ・ホ(札幌駅前通地下広場)

世界各地の会員都市の特色ある物産を展示販売する「冬の都市見本市」を開催し、市民の皆様にお楽しみいただくこととしております。会場として予定しているチカホは市内中心部に広がる地下空間で、多くの人々が行き交います。



チ・カ・ホ(札幌駅前通地下広場)

冬の都市フォーラム

日程：2016年7月30日(土)

世界冬の都市市長会が国連経済社会理事会と国連広報局の登録NGOであるというつながりを生かし、国連機関と連携した市民向けのフォーラムを開催し、市長会や国連機関の活動を市民の皆様にご紹介します。

札幌市長からのメッセージ



札幌市長の秋元克広です。34年ぶりとなる札幌市での世界冬の都市市長会議の開催に向け、ご挨拶を申し上げます。

世界冬の都市市長会は、世界中の積雪寒冷地の都市が集まって、お互いのまちづくりを学び合い、他都市の取り組みを自身のまちの課題解決の参考にして、よりよいまちづくりを実現するために活動しています。

札幌市長会議では、雪や氷、冬の寒さといった冬の都市の特徴をまちの魅力創出にどのようにつなげていけるのか、また、冷涼な夏といった冬以外の季節にも着目し、これらの特徴や魅力を生かして、どのような特色あるまちづくりの可能性があるのか、全世界の冬の都市の皆様にとって、大いに役立つ議論ができるのではないかと期待しているところであります。会議参加都市の皆様と一緒に、このテーマについて、議論できることを大変楽しみにしております。

終わりにになりますが、世界中の冬の都市のさらなる飛躍のため、ぜひ2016年札幌市長会議にご参加いただきますよう、札幌市並びに194万人の札幌市民を代表いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

札幌市長

秋元 克広

世界冬の都市市長会とは

「世界冬の都市市長会」は、“冬は資源であり、財産である”というスローガンのもと、世界中の冬の都市が集まり、冬の技術や経験、取り組みを学び合うためのネットワークです。かつては、北方都市会議と呼ばれ、1981年に札幌市が提唱し、翌年、第1回の市長会議を開催したのが始まりです。2004年には、さらなる発展を目指し、名称を「世界冬の都市市長会」に変更しました。冬の都市の市長が一堂に会し、快適な冬のまちづくりに有益な情報や技術を共有しながら、地球環境問題のように世界が協力しなければならない課題にも、国際社会の一員として取り組んでいます。積雪寒冷という同じ環境にある海外都市とのこうした交流が、それぞれの都市にとって有形・無形の財産を築くことにつながっています。

* 冬の都市とは

積雪または寒冷という気象条件のもとでまちづくりを行う都市。

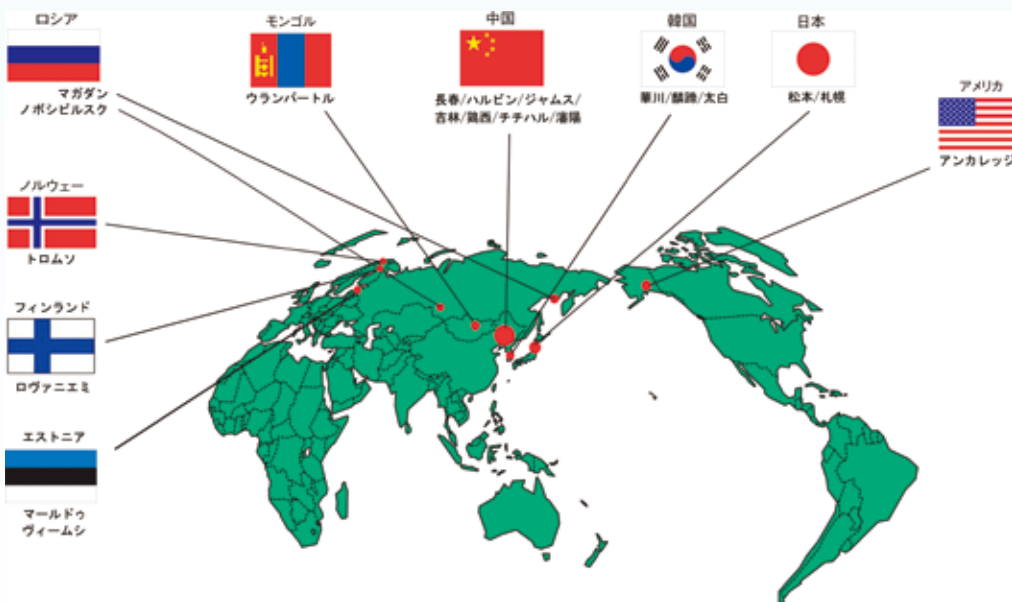
積雪の基準 … 1年間のうちで積雪量の最大値が概ね20cm(8インチ)以上となること。

寒冷の基準 … 1年間のうちで最も寒い月の平均気温がおおむね摂氏0度(華氏32度)以下となること。

会員都市

9カ国20都市(2015年11月現在)

世界冬の都市市長会は、国連経済社会理事会登録NGO(ロスター)、国連広報局登録NGOです。



アメリカ・アンカレッジのオーロラ



中国・チチハルの丹頂鶴

主な活動内容

市長会議

世界冬の都市市長会の主要事業であり、2年に1度開催されます。これまで16回の会議が開催されており、地球環境問題、都市計画、冬の都市交通、除排雪などについて、市長同士が先駆都市の知恵と経験を共有し、まちづくりへのヒントや厳しい気象条件を克服する手立てを学ぶことができました。

市長会議は、市長自らが各都市の取組事例を紹介し、都市経営の最高責任者である市長同士が膝を交えて率直に意見交換を行うユニークかつ格好の機会となっています。

小委員会

冬の都市の実務者・技術者が先進事例などを調査・研究する機関です。これまでに、「観光促進小委員会」、「雪対策小委員会」、「自然災害対策小委員会」、「持続可能な冬の都市づくり小委員会」、「冬の都市環境問題小委員会」、「環境保全小委員会」などが設置され、それぞれのテーマに基づいて成果をまとめています。現在は「北極圏デザイン小委員会」が設置され、今後活動を展開する予定です。

実務者会議

会員都市の行政実務者が集まり、次回市長会議の開催計画やテーマ、市長会の運営などについて協議する会議です。会議は原則2年に1度、事務局都市で開催されることになっています。

■ ■ ■ 市長会議での議論の変遷について ■ ■ ■

第1期：冬の生活課題の解決

【第1回～第9回市長会議（1982～2000年）】

初期の市長会議では、冬の都市が雪や寒さを乗り越え、快適な冬の生活を実現するため「冬の生活課題」の解決に向けて議論を行ってきました。

第2期：冬の都市における地球環境問題

【第10回～第16回市長会議（2002～2014年）】

2000年代になり、地球環境問題が世界的にも大きな関心事となっていたこの時期に、市長会議でもこれをテーマに議論を交わし、冬の都市の環境保全の取り組みを国際社会にアピールしてきました。



2014年華川市長会議にて

第3期：冬の都市から発信する特色あるまちづくり

【第17回市長会議以降（2016年～）】

2016年札幌市長会議では「冬の都市のまちづくり」をテーマとして、冬の都市の気候の特徴を生かしたまちづくりについて、議論を行っていきます。また、2014年華川（ファクション）市長会議で採択された華川宣言に基づき、環境問題の解決に向けた取り組みを継続していきます。

華川宣言

やまめの棲む美しい川、そしてその清らかな流れの源となる豊かな自然を有する華川の地において我々は、環境への負荷の少ない都市活動の実現が冬の都市に住む者にとって重要な課題であることを再認識した。

2004年開催のアンカレッジ会議の参加者は、地球温暖化の進行による北極圏の氷の溶解を目の当たりにした。それ以降、市長会議では温暖化対策、環境保全、エネルギー対策など環境問題をテーマとしてきた。

切迫した温暖化対策への取り組みの必要性を認識することになったアンカレッジの氷河からちょうど10年、韓国最大の冬の祭りで賑わう北漢江を前に我々は、このありのままの自然を維持しながらそれを資源としてまちの活性化にどう生かしていけるかという新たなステージに進むことができた。

温暖化の影響を強く受ける世界の冬の都市にとって、その解決が共通の課題であると強く認識されたことを契機に活動の中心として進められてきた環境問題は、将来にわたっても解決に向けた取り組みの継続が求められる普遍的な課題である。

我々は、未来を引き継ぐ青少年の環境への意識醸成に努めつつ、さらなる段階に向けて今後も温暖化対策やエネルギーのあり方などの環境問題について検討し、世界に向けて発信し続けていくとともに、冬の都市こそが国際社会の先頭に立って取り組むべき立場にあることを改めて確認し、各都市がこの課題に対し最大限の努力で取り組んでいくことを、世界冬の都市市長会としてここに宣言する。

会 員 に な る に は

入会手続き：会員になるには、入会を希望する都市の市長が会長に入会を申請します。その後、役員会に諮られ、入会が決定されます。

会 費：会員都市には、都市人口と国民1人あたりの国内総生産額（GDP）を基準として算出される年会費をお支払いいただきます。ただし、入会初年度の会費納入金額は、年会費の半額となります。

会員になると：会員になると、市長会総会及び市長会議に出席して発言し、表決に加わることができます。また、市長会議の開催市に立候補することができます。さらに、会員間に形成されているネットワークを活用してさまざまな分野で個別に交流をすることができます。

申 込 先：世界冬の都市市長会事務局

最新の会議内容やこれまでの成果についての詳しい情報を、世界冬の都市市長会のウェブページに掲載していますので、ぜひご覧ください。（<http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwwcam/>）

世界冬の都市市長会は、快適な冬のまちづくりについて、ともに考える会員都市を募集しています。入会の詳しい要件などについては、世界冬の都市市長会事務局までお問い合わせください。